

■ 基本方針

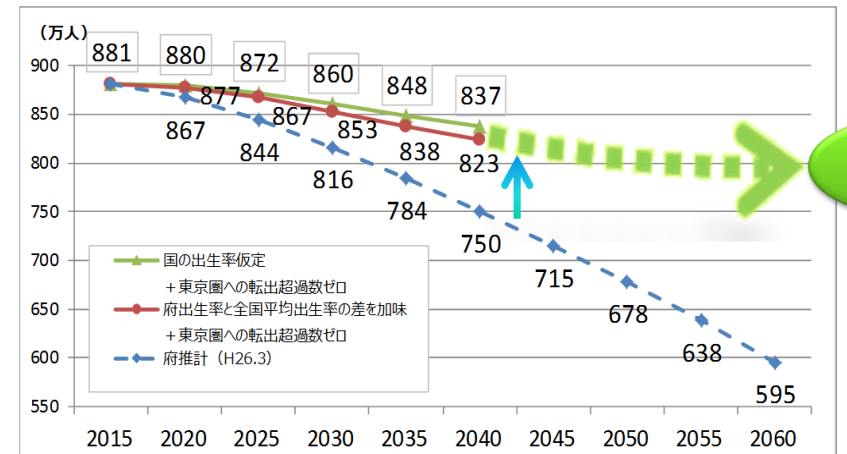
人口減少・超高齢社会のもとで、大阪の「成長の実現」と「安全・安心の確保」を同時に図るため、日本の成長を牽引する東西二極の一極としての社会経済構造の構築をめざすとともに、少子・高齢化等が及ぼす影響や将来の課題に的確に対応できるよう、実行性の高い戦略を策定

■ 基本姿勢

- 変革のチャンスと捉えて改革に取り組み、持続的な発展を実現（積極戦略）
- 人口減少・超高齢社会がもたらす将来の備えを着実に推進（調整戦略）
- ⇒ 積極戦略と調整戦略にバランスよく取り組むことで「持続的な発展」を実現
- ⇒ 目標（KPI）の達成状況を確認・検証し、真に効果の高い政策にブラッシュアップ

■ 計画期間 2015（H27）年度から2019（H31）年度までの5年間

● 総人口の推移（推計）



持続可能な社会の実現へ

戦略の方向性と基本目標・基本的方向

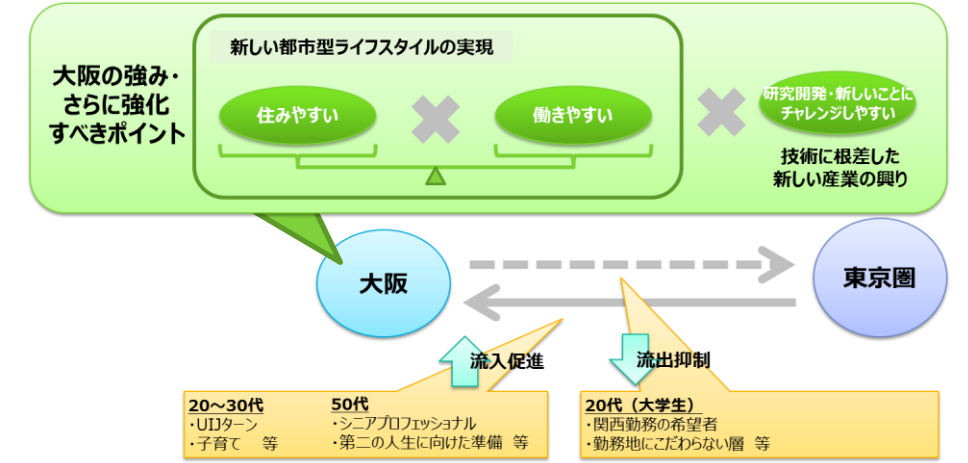
I) 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現	具体的目標
① 若い世代の就職・結婚・出産・子育ての希望を実現する ➔ 若年者雇用、子育て支援 など ② 次代の「大阪」を担う人をつくる ➔ 教育、少年犯罪・虐待対策 など	若年者就業率、合計特殊出生率 女性の就業率 全国学力・学習状況調査平均正答 非行防止ネットワーク構築市町村数
II) 人口減少・超高齢社会においても持続可能な地域づくり	
③ 誰もが健康でいきいきと活躍できる「まち」をつくる ➔ 健康寿命の延伸、障がい者対策 など ④ 安全・安心な地域をつくる ➔ 防犯、防災（災害対策） など	健康寿命、 障がい者実雇用率（民間） 地震（津波）による被害予測 密集市街地の面積
III) 東西二極の一極としての社会経済構造の構築	
⑤ 都市としての経済機能を強化する ➔ 産業創出、企業立地 など ⑥ 定住魅力・都市魅力を強化する ➔ 定住人口・交流人口の拡大 など	実質成長率 実質経済成長率・開業事業所数 来阪外国人数 転出超過率（対東京圏）

■ 国への働きかけ

- ✓ 国機関等の移転・設置  
 ⇒ 特許庁、中小企業庁、工業所有権情報・研修館、国立健康・栄養研究所 等
- ✓ 地方拠点強化税制  
 ⇒ 支援対象外地域（大阪市全域、守口市、東大阪市、堺市の一部）の見直し
- ✓ 税財源自主権の確立
- ✓ 民間が自由に活動できる環境整備（規制緩和）

活力ある地域創出 ～新しい都市型ライフスタイルの提唱～

■ 大阪の魅力を活かした「人口対流」の実現  
 東京圏と大阪の比較や東京圏移住者を対象としたアンケート調査等（※）に基づき、大阪の「強み」やさらに強化すべきポイントをとらえ、東京圏から大阪への「人口対流」の実現に向け、PRすべき「大阪のよさ」を例示



- 【大阪の強みや特徴を踏まえ、PRすべき大阪のよさ】
- 生活……自分らしく暮らす
  - 仕事……「ナレッジイノベーション」を実現、「ものづくり」で起業
  - 地域……地域に根差した活躍、アクティブなシニアライフ
  - 研究・開発……「企業の研究開発」、「基礎研究」「実用化に向けた先端研究」
  - 観光魅力……エンターテイメント、歴史・文化を体感、インバウンド、留学

※ 東京圏への流出超過の原因等を調査するため、アンケート調査等を実施  
 ・ WEBアンケート……大阪出身の東京圏移住者、関西在住の大学生を対象  
 ・ グループインタビュー……大阪へのUIターン経験者を対象

■ 地域類型別課題への対応

- 「都心部」「周辺部」等の4つのエリアごとにどのような強みがあり、それをいかに伸ばしていくべきか整理 ➔ 地域の特徴を高める府内の先進事例を例示
- 都心部……都市の中心部。オフィス・商業地
  - 郊外部……ニュータウン、ベッドタウン
  - 周辺部……昔から発展した地域、密集市街地
  - 山間部……農地・緑地が中心の地域

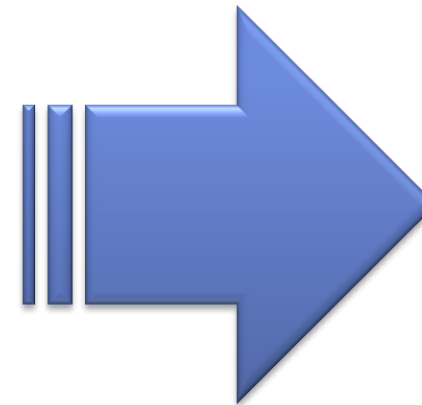
#### 基本目標⑤：都市としての経済機能を強化する

東京圏への経済機能の流出に歯止めをかけるとともに、関西経済圏の中心を担う大阪において、東西二極の一極としての経済中枢機能、世界との交流窓口となる中継都市機能を強化します。

##### <現状・ポテンシャル>

強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国第二の経済都市圏</li> <li>・ライフサイエンス、新エネルギーなど成長産業の集積</li> <li>・中小企業の集積</li> <li>・金融機関・大学・研究機関の集積</li> <li>・創薬等の支援機能の集積（AMED創薬支援戦略部西日本統括部、PMDA関西支部）</li> <li>・多様な担い手との協働(産学公民金の連携)</li> <li>・充実した都市交通インフラ</li> </ul>
弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京圏及び近隣府県への企業の流出</li> <li>・産業用地の不足</li> <li>・人口減少に伴う労働力の不足</li> <li>・経営者・技術者の高齢化、後継者不足</li> <li>・環状交通ネットワーク機能が東京圏（・中京圏）と比較して低い</li> </ul>

##### <めざす将来像>



**日本の成長をけん引する東西二極の一極として世界で存在感を発揮する都市の実現（昼間人口の増大）**

**東西二極の一極としての社会経済構造の構築**

##### <基本的方向>

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 産業の創出・振興</li> <li>(2) 企業立地の促進</li> <li>(3) 活力ある農林水産業の実現</li> <li>(4) 多様な担い手との協働</li> <li>(5) インフラの充実・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションの創出、起業・第二創業 等</li> <li>東京圏等への経済機能の流出抑制</li> <li>都市型農業の振興 等</li> <li>民間など多様な担い手との幅広い連携・ネットワーク</li> <li>広域交通インフラ整備 等</li> </ul>
---	---